

今月のイチオシ



強父論

阿川 佐和子(著)
文藝春秋

阿川弘之氏が94歳で大往生されてから、今年8月で一年。娘佐和子が、強父語録とともに、父との62年間を振り返ります。破天荒な父がアガワを泣かした34の言葉。



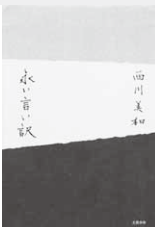
サブマリン

伊坂 幸太郎(著)
講談社



ちかしつのなかで

横須賀 香(著)
ビーエル出版



永い言い訳

西川 美和(著)
文藝春秋



草原の霸王チンギス・ハーン

津本 陽(著)
PHP 研究所

公民館図書室利用時間
月曜日・金曜日 午前8時30分～午後6時

村公民館図書室の本を紹介します。
このほかにも、たくさん楽しい本が
皆さんを待っていますので、ぜひご利用
ください。



本とハッピー

交 流 ひろば

新婚さん、金婚を迎えたご
夫妻の登場者を募集していま
す。自薦・他薦は問いません。
皆さんどしどしご応募くださ
い。【問い合わせ】役場企画課
広報統計係 ☎24-5111
(内線141)

地域包括支援センターだより

実践！介護予防 みんなで楽しくらくらく筋トレ体操♪

今月は『ふれあい・いきいきサロン』を紹介します。

■場所：ふれあい館

■日時：毎週(水) 午前9:30～

☆ここが私たちの魅力☆

- 色んな部落から参加して大丈夫。新しい人でもなじみやすい雰囲気がある。
- 誘いあわなくてもみんな自主的に参加している。歳を重ねても続けられるのは、筋トレが良いことを実感しているからとのこと。
- お茶のみとおしゃべりも楽しみ。お茶菓子や漬物は“気持ちで”持ち寄ることにして、あまり負担に感じないよう心がけている。
- 男性の参加者もいる(取材日は残念ながらお休みでした)。参加者募集中！

みんなの声

・自分から「行きたい」と思う・同世代と比べても足取りが良い・転びそうになっても踏ん張れる・お茶のみは心の交流・こういう集まりは貴重など



「筋トレの効果はすごい！」と頑張る皆さん

カスリン台風の記録から

昭和三十二年九月十五日の会
理事 堤 義樹

六年前の東日本大震災は、災害への意識を高め、備えることの大切さを学ぶ機会となりました。しかし、明治時代の科学者寺田寅彦は「天災は忘れた頃にやってくる」と警鐘を鳴らしています。

七十年前の昭和二十二年九月十五日、本村に大きな台風が上陸します。台風にはアメリカの女性の名前が付けれ、カスリン台風と呼ばれました。台風の被害は関東地方全域に及び、死者・行方不明者は千八百名を超え、負傷者は千五百名程、その他、住宅家屋損壊、耕地流失埋没など、被害者は四十万人を超えるものでした。その様子が村誌に記録されています。

糸之瀬村誌から引用

「戦争中の山林の濫伐と、その後の放置は、この雨によって各地での山崩れとなつて現れ、土砂の流失がはなはだしく各河川の水位は急上昇し、特に十五日に被害は頂点に達しま

した。私達の村では、長者久保部落が山崩れの土砂によって最大の被害をうけ、死者七名の痛ましい犠牲者を出しました。また、下吹張の部落も堤防が崩れ十戸が全・半流失し、その他多くの被害を受けました。」

村誌久呂保から引用

「この台風は雨台風で、赤城を中心に降り降雨量は四百ミリに達した。永井沢、大久保沢、入沢、御室久保、その他小さな谷も、もの凄い出水となり、特に御室久保は山の崩壊によりせき止められ、久保の農地はもとより小岩、鎌沢部落の家屋、道路橋梁農耕地に大被害を与えた。又、利根片品両河川の沿岸三ツ谷、君ヶ原部落も、損害を受け悲惨な状態を呈しました。」

村誌はこれらの事を詳しく記録しています。自然災害の少ない本県、昭和村ですが、過去の災害を忘れてはならないでしょう。



台風で流失した君ヶ原橋

「あつたかいんだから」

前回の登場者紹介で「ドライな友人」とありましたが、どちらかというと私は汗も滴るハートフルな人間だと自負しています。もちろん昭和村にいる人は皆温かいと思っています。

私は良くも悪くも「人が良い」と昔から耳にタコができる程言われてきました。中学・高校時代を知る方々から見てもらっても、変わってしまったのは体型だけだと思います。少し体重が20kgほど増えてしまつたくらいです。

早いもので社会人となつてから3年目を迎えようとしています。職業柄、地域の方々と接する機会が多くあります。そのなかで昭和村の方々とも交流させていたただくこともあり、今回このコーナーに目を通してもらつて「ああ、あの人が」と思い出していただければ幸いです。

まだまだ若輩者ではありますが、日々精進して参ります。

PS. 既読無視はごめんね。また誘つてね。



次回の登場者は、鈴木 知尋さん(22歳・田岸)です。

はっらっ
トーク



加藤 健吾さん
(24歳・上内出)